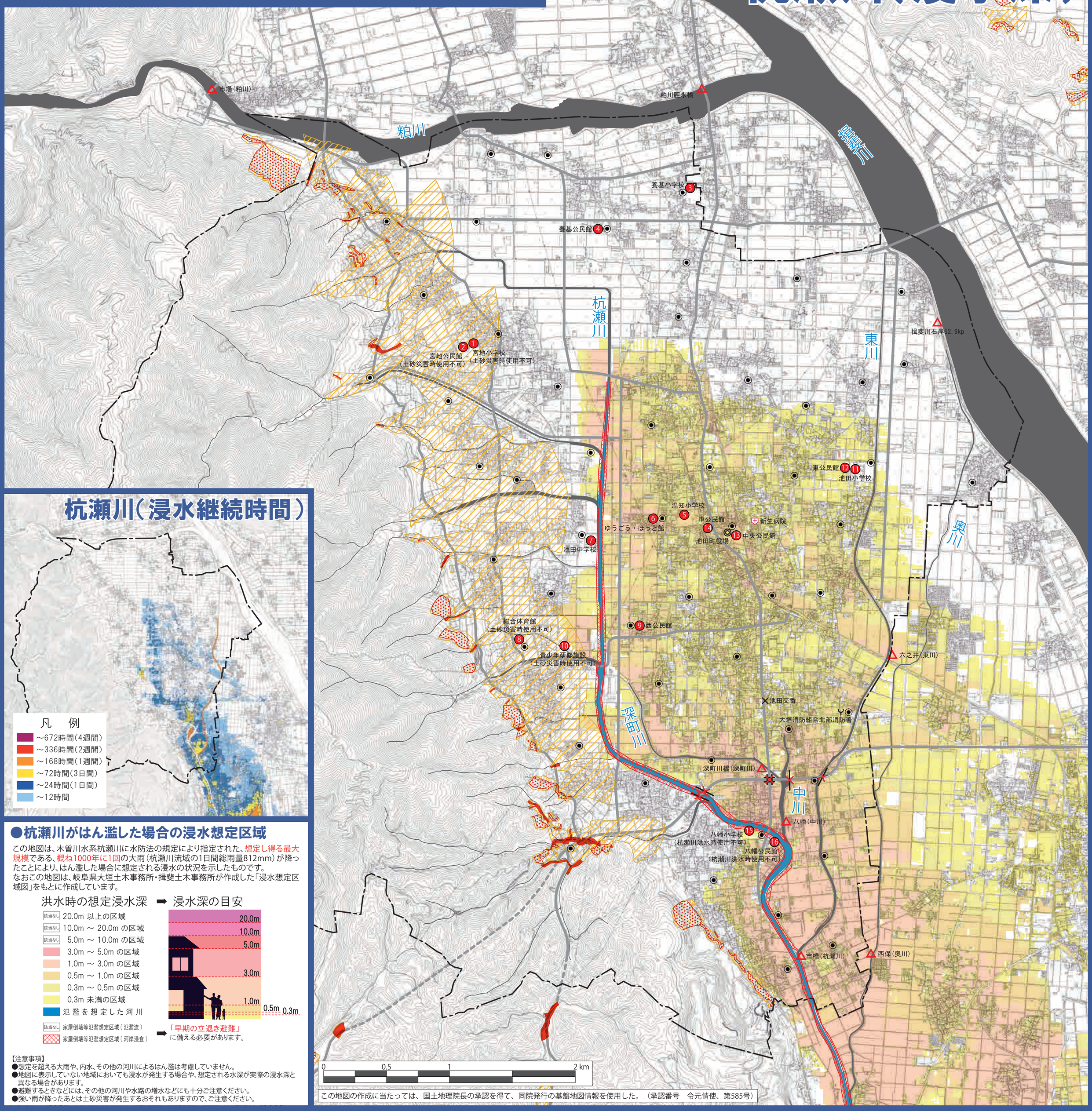
池田町洪水ハザードマップ

杭瀬川（浸水深）



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。（承認番号　令元情使、第585号）

杭瀬川（浸水継続時間）

●杭瀬川がはん濫した場合の浸水想定区域

この地図は、木曽川水系杭瀬川に水防法の規定により指定された、想定し得る最大規模である、概ね1000年に1回の大雨（杭瀬川流域の1日間総雨量812mm）が降ったことにより、はん濫した場合に想定される浸水の状況を示したものです。
なおこの地図は、岐阜県大垣土木事務所・揖斐土木事務所が作成した「浸水想定区域図」をもとに作成しています。

洪水時の想定浸水深 ➡ 浸水深の目安

- 該当なし 20.0m 以上の区域
- 該当なし 10.0m ～ 20.0m の区域
- 該当なし 5.0m ～ 10.0m の区域
- 3.0m ～ 5.0m の区域
- 1.0m ～ 3.0m の区域
- 0.5m ～ 1.0m の区域
- 0.3m ～ 0.5m の区域
- 0.3m 未満の区域
- 氾濫を想定した河川

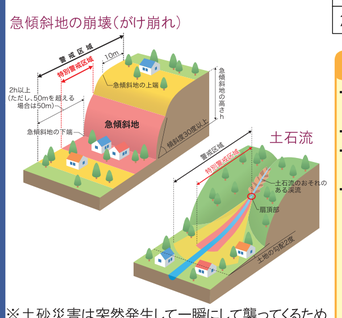
- 該当なし 家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫流）
- 家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸浸食）

➡「早期の立退き避難」に備える必要があります。

【注意事項】
- ●想定を超える大雨や、内水、その他の河川によるはん濫は考慮していません。
- ●地図に表示していない地域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。
- ●避難するときなどには、その他の河川や水路の増水などにも十分ご注意ください。
- ●強い雨が降ったあとは土砂災害が発生するおそれもありますので、ご注意ください。

●土砂災害警戒区域

土砂災害特別警戒区域		土砂災害警戒区域	
土石流		土石流	
急傾斜地の崩壊		急傾斜地の崩壊	



※土砂災害は突然発生して一瞬にして襲ってくるため、発生前に防災情報を入手し、早めに避難することが必要です。

土砂災害警戒区域（通称：イエローゾーン）
- 急傾斜地（傾斜度30°以上で高さ5m以上の急傾斜地で人家等がある場所。）
- 急傾斜地の上端から水平距離が10m以内の区域。
- 急傾斜地の下端から急傾斜地の高さの2倍以内（ただし、50mを越える場合は50m）の区域。
- 土石流の発生のおそれのある渓流において扇頂部から下流で勾配が2°以上の区域。

土砂災害特別警戒区域（通称：レッドゾーン）
- 急傾斜地の崩壊や土石流に伴う土石により、建築物に大きな損壊が生じ、生命に危害が生ずるおそれのある区域。
- 建築物に対する規制があります。

凡　例

- 避難場所
- 医療機関
- 交番
- 消防署
- 池田町役場
- 地下道（アンダーパス）
- 水位観測所
- 防災行政無線
- 主な道路（トンネル）
- 市町村境界

●防災関係機関一覧

名　称	電話番号
池田町役場	45－3111
新生病院	45－3161
大垣消防組合北部消防署	45－3733
池田交番	45－3102

●避難所一覧

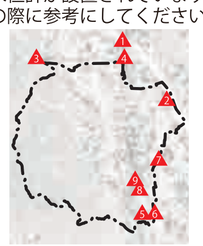
	施設名	電話番号
1	宮地小学校	45－3100
2	宮地公民館	45－7423
3	養基小学校	45－3105
4	養基公民館	45－6926
5	温知小学校	45－3166
6	ゆうごう・ほっと館	45－5010
7	池田中学校	45－3188
8	総合体育館	45－8711
9	西公民館	45－7424
10	青少年研修施設	45－8718
11	池田小学校	45－2681
12	東公民館	45－6712
13	中央公民館	45－7110
14	中公民館	45－8182
15	八幡小学校	45－3106
16	八幡公民館	45－3101

※浸水状況により、避難所が使用できない場合があります。

●浸水想定区域のかかる河川の水位計について

池田町内に浸水想定区域がかかる河川には、下記のように水位計が設置されています。ウェブサイトで水位を確認できますので、早期避難の判断の際に参考にしてください。

河川名	通常水位計	危機管理型水位計
揖斐川	1 岡島水位観測所	2 揖斐川右岸52.9kp
粕川	3 市場	4 脛永橋
杭瀬川	5 市橋	
奥川		6 西保
東川		7 六之井
中川		8 八幡
深町川		9 深町川橋



▼水位の確認方法

岐阜県川の防災情報　通常水位計の水位情報が確認できます。

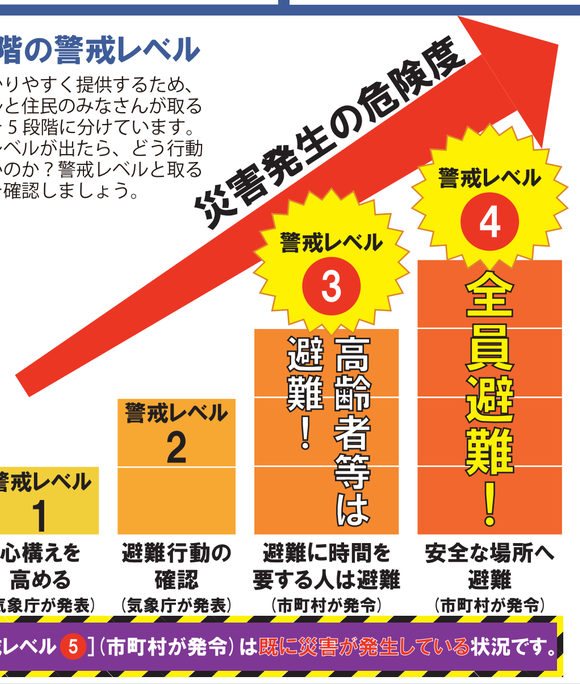
https://www.kasen.pref.gifu.lg.jp/
https://www.kasen.pref.gifu.lg.jp/sp/
https://www.kasen.pref.gifu.lg.jp/h/

川の水位情報　危機管理型水位計の水位情報が確認できます。

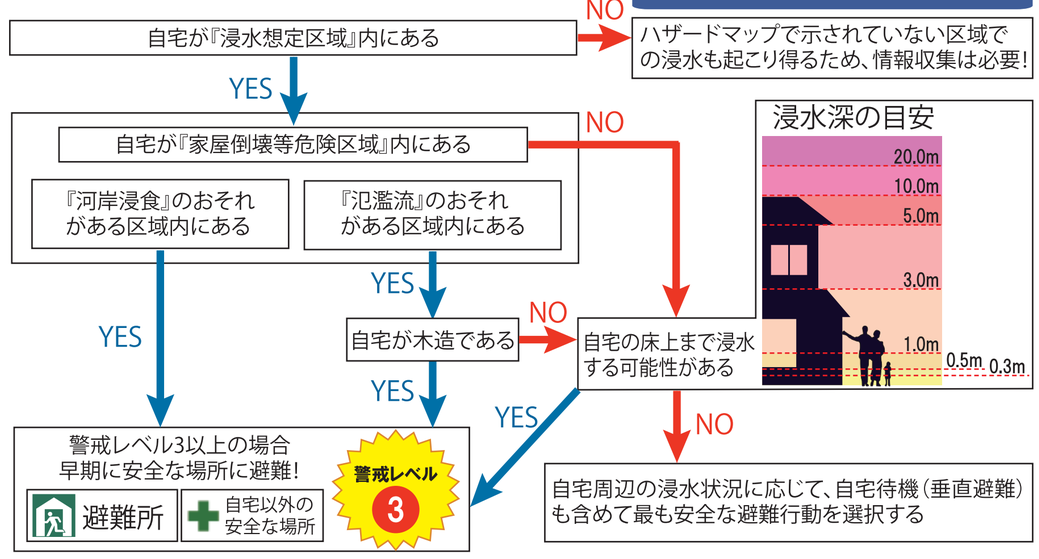
https://k.river.go.jp/

●5段階の警戒レベル

情報を分かりやすく提供するため、警戒レベルと住民のみなさんが取るべき行動を５段階に分けています。どの警戒レベルが出たら、どう行動すればいいのか？警戒レベルと取るべき行動を確認しましょう。



●避難のフローチャート

地図を見ながら、自宅の避難の方法を考えてみましょう。

▽裏面の『大雨や洪水に関する情報収集の方法』を参照してください。